

2013年度 遺愛入学式

4月6日（土）に中学は午前10時から講堂で、高校は午後1時から遺愛アリーナで入学式を行いました。中学は39名、高校は216名の入学です。今年も新入学生は式辞のあいだも顔をあげ、お話にしっかりと耳をかたむけていました。入学式の時にしっかりと顔をあげて話しを聞ける学年はとても有望です。

今年の入学式では、サッカー日本代表の本田圭祐選手の言葉を紹介しました。現在ケガで試合に出場できない状態で、本当に辛い思いをしているようです。本田選手はNHKの「プロフェッショナル」という番組の中で「神様がほんままた、いらん障壁ばっか立てますけど、もう望むところですよ。この壁だって神様に感謝しないと。この状況を与えてくれてありがとうって。思ったように事が運ばない、それもまた人生。いかなる時も前向きにね。うまくいかないときほど前向きに、ですよ。大事なのは自分が成長することやから」と語っていました。いかなる試練にも、“神様、ありがとう”と言えるハートこそ、本田選手を本田選手たらしめてきたものなのかもしれません。さらに本田選手は続けて「信じることっていうのは僕にとって希望なんですよ。信じられなくなったときに希望の光は見えなくなる。人って誰しもがうまくいかなかったときとかにちょっと疑うと思うんですよ。そのときにいかに信じることができるか。信じるっていうのは本当に希望そのものですよね。」と語っていました。



遺愛の校訓は「信仰・犠牲・奉仕」そして今、遺愛のホワイトハウスの庭にはクロッカスとスノードロップの花が咲き乱れています。スノードロップの花言葉は「希望」です。新入学生には、大きな希望をもって3年間あるいは6年間の遺愛生活を過ごしてほしいと願います。

2013年4月8日